

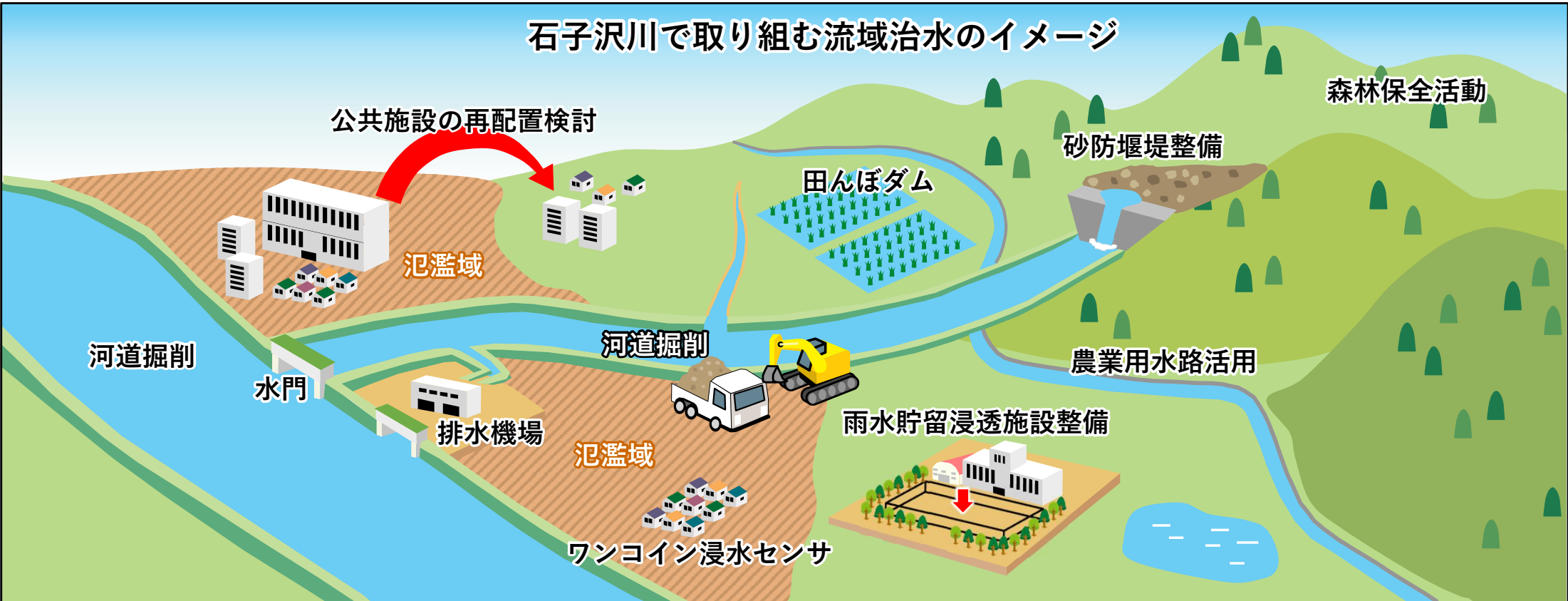


地域を“みず”から守る ～ 最上川流域治水 ～

もがみがわ
緊急治水対策
プロジェクト



第1回協議会の振り返りとこれまでの取り組み



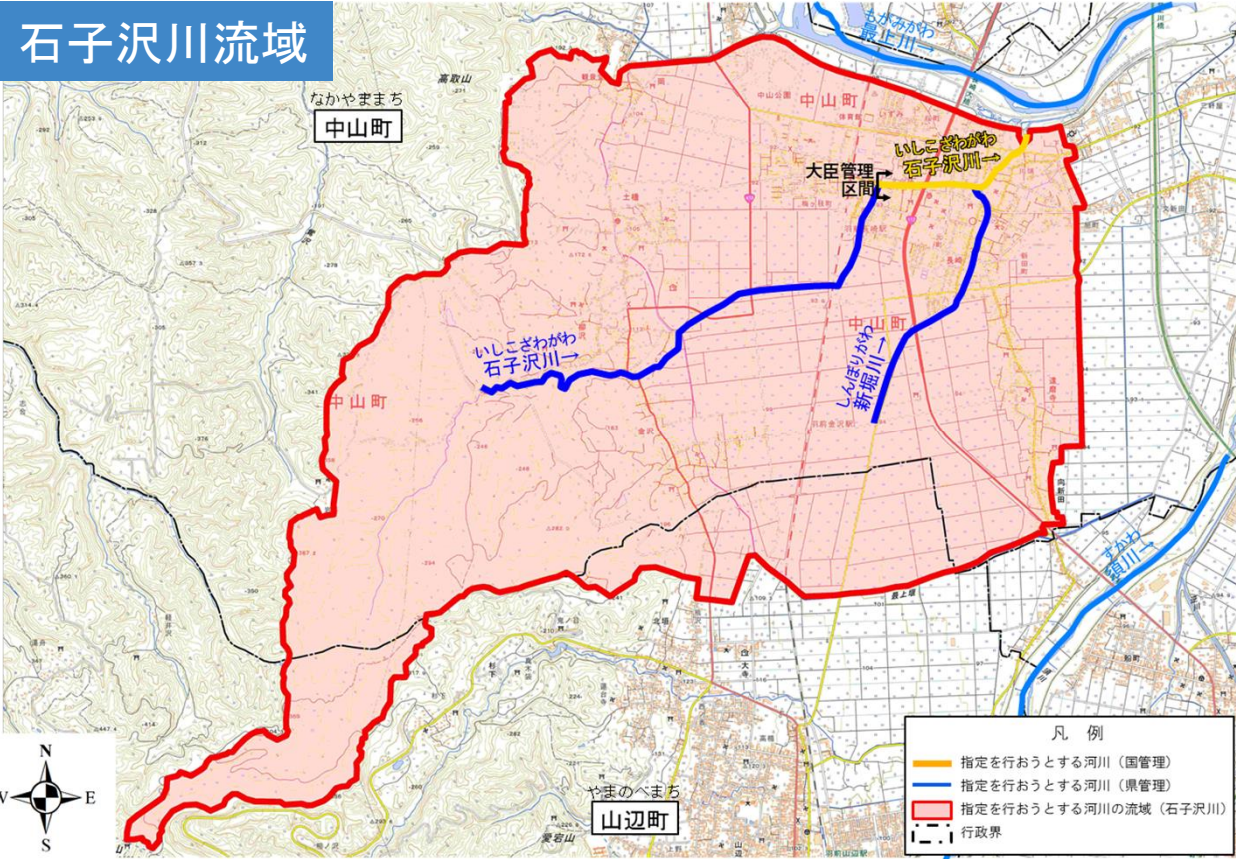
令和7年2月21日
石子沢川流域水害対策協議会

最上川水系石子沢川特定都市河川指定と流域水害対策について

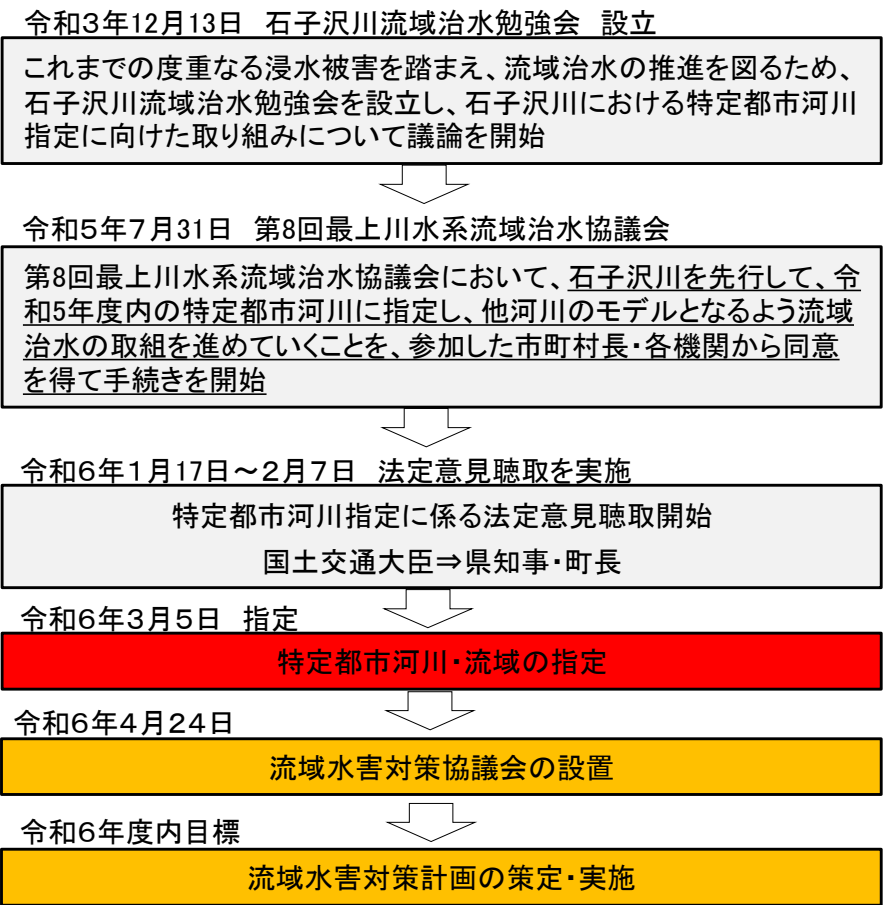


- 法的枠組みを活用した流域治水を推進するため、令和6年3月5日に最上川水系石子沢川等を特定都市河川に指定。
- 令和6年4月24日(水)に、流域水害対策協議会(発足会)を山形県中山町内で開催。令和6年度内の流域水害対策計画の策定を目指す。

石子沢川流域



これまでの経緯・今後の予定



- 最上川水系石子沢川等が令和6年3月5日に特定都市河川及び特定都市河川流域の指定になったことから、流域水害対策計画の策定に向けた「石子沢川流域水害対策協議会」の発足会を令和6年4月24日に開催。
- 協議会では、流域水害対策計画に定める事項や浸水被害対策の基本的な考え方、計画策定に向けた今後のスケジュール等について事務局より説明し、意見交換を行った。



^{あげもり}
東北地方整備局 上森副局長

- この協議会において、さらなる治水対策の加速化や、流出抑制対策の強化を行い、「地域を”みず”から守る」流域治水の取り組みをより一層推進し、石子沢川流域のモデルが山形県内はもとより、全国に発信して行けるよう、関係機関の皆様と連携し、流域水害対策に取り組んで参りたい。



^{なかやま} ^{さと}
代表者挨拶 中山町 佐藤町長

- 関係者と連携しながら、石子沢川流域治水による浸水被害の抑制に取り組むとともに、最上川や須川における洪水対策、豊田地区における土砂警戒災害区域の防災・減災の取り組みなど、災害に強いまちづくりに尽力していきたい。
- 本格運用が始まったばかりの制度でもあり、事例も少なく、皆様からの積極的な発案や助言をいただきたい。
- この取り組みを、気候変動による災害に対し、我々と同じく奮闘を続ける全国の地域の皆様と情報を共有・協力しながら進めることで、防災・減災につなげていきたい。



^{こばやし}
山形県 小林県土整備部長

- 気候変動による災害の激甚化・頻発化により、これまでの河川整備だけの対応では難しくなっており、流域に住むあらゆる人が協働して水害対策を実施していく必要がある。
- 特定都市河川指定により、流域に住んでいる方々が良いものだと実感してもらえるよう、また、他河川のお手本となるよう皆様方と連携して進めていきたい。



^{やまの} ^{あだち}
山辺町 安達町長

- 気候変動による影響を真剣に考え、住民の生命と財産を守ることが使命と考えている。関係する皆様と連携しながら、災害に強い・安全安心のまちづくりのため、防災の基盤整備強化に取り組んでいきたい。



^{ほそや}
ゲンサイデイズ 細谷代表

- これまで河川に関する対策は、ハード対策中心であったが、ソフト対策としての町づくり、人づくりといったことも、取り組んでいくということで本当にありがたい。
- 中山町・山辺町にある文化をさらに発展させ、産業を守る次の人材を育てていくことに防災という教育が役立つものであればいいなと取り組んでいる。恵みとリスクを的確にとらえて新しい情報というところを活かせるよう尽力していきたい。

【出席者】上記写真左から

- ①東北地方整備局局長（代理） 上森副局長
- ②気象庁山形地方気象台 有賀台長
- ③ゲンサイデイズ 細谷代表
- ④山辺町 安達町長
- ⑤中山町 佐藤町長
- ⑥最上堰土地改良区 縄野理事長
- ⑦東北農政局農村振興部長（代理） 松尾地方参事官
- ⑧山形県知事（代理） 小林県土整備部長

- 協議会以降、中山町を中心とした取り組みを行う関係機関と調整を行い、令和7年2月3日に石子沢川流域水害対策協議会実務者会議を開催し計画策定に向けた具体的内容について、検討・協議を行った。
- 実務者会議参加者：中山町・山辺町・山形県（河川課・農村整備課・森林ノミクス課・村山総合支庁河川砂防課）・最上堰土地改良区・山形地方気象台・山形河川国道事務所
- 令和7年2月4日に東北大学風間教授への説明を行い、取り組み内容について了解をいただいた。



令和7年2月3日開催：石子沢川流域水害対策協議会実務者会議の様子【場所：山形河川国道事務所】